

令和8年度大富士小中学校グランドデザイン

学校教育目標

志をもち 心豊かで たくましく生きる子

小中9年間で身に付けたい資質・能力

・主体性 ・粘り強さ ・対話力 ・協働性 ・思いやり

小中専門部会による9年間の連携活動

P

生徒指導

健全な心身を育成し、規範意識を高める

- 豊かな人間関係を育む
- ・相手を思いやる言葉遣いの涵養
- ・SEL(ソーシャルエモーショナルラーニング)
- ・グループエンカウンター
- 不登校対策の推進
- ・SC、SSW、不登校支援員、外部機関等との連携
- ・生徒(子ども)理解会議の充実
- ・教育相談の充実
- ・全職員による不登校児童、生徒への対応
- ・相談室の機能の充実
- ・利用者の情報の共有

研修

課題を見つけ、全員で学び合う授業づくり

- 魅力的な単元構想と分かる授業
- ・主体的、対話的で深い学びの充実
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・身に付けたい資質・能力の具体的な姿の共有
- ・資質、能力を引き出す単元構想
- ・教科横断的な学習を意識した単元構想
- ・子どもの問いを引き出す導入の工夫
- ・考えを持つことのできる学習課題の設定
- ・適切な振り返りによる学びの調整力の向上
- 学びの基盤づくり
- ・朝学習
- ・学習環境の整備(UD)
- 心を育てる道德教育の推進

D

特別活動

一人一人が活躍し、よりよい学校をつくる

- 児童、生徒主体の特別活動
- ・子ども同士、教師と子どものあたたかな人間関係づくり、学級づくり(UD)
- ・よりよい学校を目指した児童会、生徒会の常時活動
- ・子ども主体を実感する運動会、文化発表会、各種集会等の企画・運営
- ・PDCAサイクルを意識した子ども主体の児童会、生徒会活動

情報

情報化社会を生きる力を育む

- ICT機器の効果的な活用
- 情報モラル教育の推進
- リモート等による授業実施(誰一人取り残さない)

<学校経営目標>

多様な考えを尊重し、ウェルビーイング(well-being)の実現を目指す
一人一人の居場所があるあたたかな学校

子どものwell-being

学校のwell-being

特別支援

誰一人取り残さない環境づくり

- 特別支援教育の充実
- ・一人一人のよさと可能性が生きる特別支援教育
- ・多様性を受け入れ、互いのよさを認め合う集団づくり
- ・合理的配慮への対応
- ・生活環境の整備(UD)
- ・困り感を持つ子への素早い対応
- ・ユニバーサルデザイン(UD)でみんな楽しい!分かる!できる!

富士山学習

課題を見だし、解決する力を育む富士山学習(くぬぎ学習、五翔学習の充実)

- 教科等横断的な探究学習
- ・価値、持続性のある課題設定
- ・調べ学習、体験活動等を通じた適切な追究活動
- ・学びや思いを表現し、発信する
- ・自分の生き方につなげる
- SDGs実現に向けた教育の充実
- 命を守る防災教育

健康体育

自らの健康を考え、運動に親しむ

- 体力作りの推進
- ・体力の向上
- ・基本的生活習慣
- ・感染症対策

評価

- ・単元テスト ・学力調査 ・定期テスト
- ・アンケート調査(いじめ、i-check)
- ・月例報告 ・出席状況
- ・保健室来室状況
- ・学校評価

評価項目

- ・学校が楽しい(小中90%)
- ・みんなで学び合う授業は楽しい(小中90%)
- ・進んで取り組める活動がある(小中95%)
- ・進んで挨拶している(小中85%)
- ・思いやりのある言葉をつかう(小中85%)
- ・基本的生活習慣を意識する(小中90%)
- ・自分にはよいところがある(小85%)
- ・自分も周りの人も大切である(小中90%)
- ・富士山学習において、意欲的に追究を続けている。(小中85%)

具体的な改善策

- ・小中専門部会、各種委員会でPDCAサイクルを短期間で動かし、全職員で共通理解
- ・学校、家庭、地域の連携と協働
- ・学力調査等の結果を基にした授業改善
- ・日常の教育相談の充実

コミュニティスクールの推進

- 小・中連携・・・小中専門部会・合同研修、授業参観、学校運営協議会
- 関係機関との連携・・・SC、SSW、青少年相談センター、適応支援教室アルファー、フリースクール、子ども未来課、児童相談所、生活安全課、放課後デイサービス
- 家庭・地域との連携・・・HP、各種たより、警友会、二十歳を祝う集い、各地域ごとの行事
- 小中児童生徒の交流・・・交流授業、生徒会による新入生対象説明会、PTAリサイクル活動

A

C